

高知県農業共済組合



1 高知県の紹介

高知県は四国南部に位置し、南は太平洋、北は四国山地と、青い海と緑の山々に囲まれた豊かな自然に恵まれた地域です。森林率は全国一の84%（全国平均67%）にも及びます。また日本最後の清流といわれる四万十川のほか、水辺利用率全国一の仁淀川、安田川など四国山地に源を発する清流が多く流れています。

夏は蒸し暑く、連日のように熱帯夜が続きます。県西部地域では北西風が四国山地を超えてフェーン現象を起こし、本州内陸部にも匹敵する暑さとなることがあり、平成25年8月には当時日本最高となる41度を記録しました。

そうした暑さの中、毎年8月9日から12日には日本最大級の踊りの祭典「よさこい

祭り」が行われ、2万人以上の踊り子が参加して、県庁所在地の高知市内は踊りと音楽で包まれ、国内外から訪れた観光客で賑わいます。



昭和29年から続く「よさこい祭り」



仁淀川（越知町・浅尾沈下橋）



ドローン撮影による園芸施設群（土佐市）

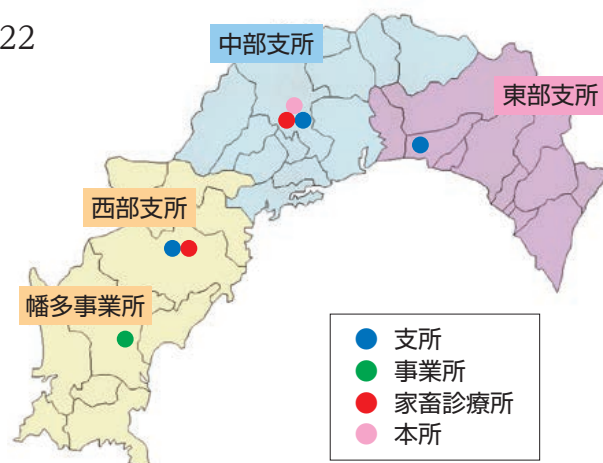
2 高知県の農業

高知県は東西に170kmと長い形状をしており、耕地面積が少ないため、古くから平野部において施設園芸を中心とした野菜栽培が定着し、近年では農家所得向上を目指して「次世代型環境制御技術」が普及してきています。一方、中山間地域では、農・畜・林の地域の特性を活かした複合経営が営まれてきましたが、近年では平野部と同

様に施設園芸等の生産性の高い農業も広がっています。中でもミョウガ、ナス、シトウ、ショウガ、ユズ（果樹）、グロリオサ（花き）等の農産物は全国第1位のシェアを誇り、この外にもキュウリ、ピーマン、オクラ、ニラ、ユリ（花き）、文旦（果樹）などは高知県を代表する園芸品目となっています。

3 高知県農業共済組合の概要（令和7年4月1日現在）

- 本所所在地：高知県吾川郡いの町枝川 2410-22
- 本所電話番号 088-856-6550
- 理事：14名
- 監事：3名
- 職員数：92名（うち獣医師9名）
※嘱託職員・契約職員を含む



4 高知県農業共済組合の活動

平成26年4月に特定組合として発足し、現在3支所、1事業所、2家畜診療所で業務を行っております。

高齢化による離農や廃業、後継者不足により、組合員は減少傾向にあります。また当組合と組合員を結ぶパイプ役を担っている基礎組織も規模縮小の傾向にあります。

そこで当組合では、将来にわたって安定的に事業を継続し、農家の経営安定のためのセーフティネットとしての役割を果たすため組織の合理化と業務の効率化により組織体制の強化に取り組んでいるところです。

また行政やJA等の連絡会議や新規就農者を対象とした各種制度説明会、農業機械メーカーのフェアや農業大学校への出前講座等にも積極的に参加し、農業保険制度の周知と農業者情報の共有に努めています。各関係機関とのスムーズな協力体制を日々構築し、農家が安心して相談することのできる組織として地域農業の維持と発展に貢献していく所存です。

今後も「より身近に、より丁寧に、農家のもとへ」を行動スローガンに、農業共済と収入保険の両輪で、すべての農業者に農業保険を提供するため役職員一丸となって普及推進に取り組んでまいります。



高知県農業共済組合・本所（2F）
中部支所・家畜診療所（1F）



農業大学校でのNOSAI出前講座の様子



総代会でスローガンを宣言する森岡敬雄組合長